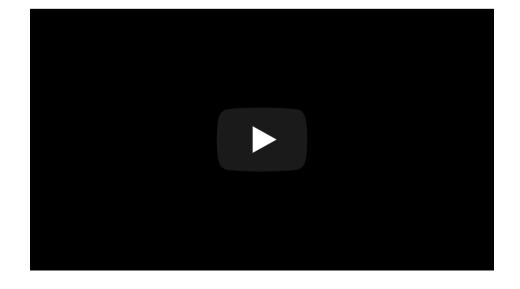
【听译】爱き夜道



たま

__ 向こうの世界は いつも 赈やか だけど どこか つまら なそうだ 『一绪に笑える』それだ けのこと とても大切なこと

たま

对面的世界 总是很热闹

但是 总觉得哪儿 有些 无趣

『能一起欢笑』只有这一 占 是极为重要的事

ランコ

教えてくれた君への感谢 は 尽きないけど 「ありがと 无以言表 就连一句「谢 う」とは 照れくさくて 言えそう にない 今夜も 黙って干杯

ランコ

你告诉我种种的感激之情

谢ι

都羞涩得 难以启齿

今晚也 默默干杯

ランコ たま

「忧世郁世」云々 叹き节

着に呷る 酒の苦味よ 鱼着入口 苦酒滑肠 けれども染み入り酔いぬ 却说酒醺而未醉 のは 君と居るからこそ

ランコ

聊起「忧世郁世」云云 悲叹处

但因有你在身旁

雨天决行

笑い话

回し

月夜に想い耽る 一方的な送り舟 何时 何时苦しみ酒が染 3 またあの日を慈しみ 癖に成る様な嫌な辛味 酒は讲めど蟠り 杯に君を投影 する度波纹や花见月 瞳が嵩を増さす

揺れる心は过度な摩擦

にも出来ずに 想いは盥

雨天决行

月夜下思绪渐远 有去无还的客船 从何时起 苦酒沁心

又忆起那日慈悲 讨厌却又成瘾了的这辣酒 推杯换盏 心怒难熄 杯中你的投影 定睛欲看时波纹映月 眼瞳瞪大 摇摆的心讨度摩擦 言笑之话 也想不出一句 顾左右而 言他

たま | | **ランコ** | それで も回る世界

雨天决行 そう変わらず 二人は存在してる

たま | | ランコ | 今でも 垢抜けない

雨天决行 想いが交差し

后悔し寝る

たま | | ランコ |

即便如

此世界还在旋转

雨天决行 对的 不变的

两人也还存在

现在也 たま | | ランコ |

是蓬头垢面

雨天决行 心绪缠结 后 悔着入眠

たま ランコ たま

ランコ

向こうの世界は 平穏无 対面的世界 平稳无事 事 だけど どこか 息苦し 但是 总觉得哪儿 喘不 そうだ 上气来 眉の力を 抜き 过ごせ 是要放下重负忍辱苟活么 る 场所ではないのだろう 现在也还没到那种程度吧

ランコ たま

「渡世は厌世」云々 恨み 节 着に浸る 酒の苦味よ 鱼着溶口 苦酒滑肠 けれども染み入り酔いぬ 却说酒醺而未醉 のは 君と居るからこそ

ランコ たま

聊起「渡世即是厌世」云 云 悲恨处

但因有你在身旁

ランコ

仆は 名前も 知られて ない 君の 周りには 人集り だから 仆は 少し 离れた 场所で 君を见ていた

ランコ

你的周围人群拥聚 所以我选择 在稍微离远一些的地方 注视着你

你甚至不知道我的名字

たま

薄ざわめき 云隠れの月 妙に 肌寒い 夜の小道 足元を照らす程度でいい

今夜は 灯りが欲しい

淡淡薄云 遮掩明月 微微寒风拂面 夜间小道 只要能照亮脚边的程度就够 今晚想要些灯火

雨天决行

当面の予定は未定 そう透明で依然 差し出 す両手 二人が见ず知らず 何て想いだす意気地无し インでをでするであるであるであるである。 保を诘まる言いたい事 のでもいるをいるをがある。

たまにの晩 釈然の晩酌 全能まではいかず 「また、いつか」だけは誓 う それで明日が始まりだす

実が无い话も根も叶も堀り こ人の时间に华を咲かす 実感出来れば有终の美

雨天决行

眼下的预定是尚未确定 即是未知却依然 伸出的 双手 两人尚是陌路 为何会想起懦弱的一面 就连对未来的预想 诸事重重都是妄想 堵在喉口想说的事 说出口却全是泄气的软骨 头 偶然的夜晚 释然的酒宴 却不能如愿全能 「那么,何时再聚」只有 这句约定 就凭这句明日奋斗新的— 天 完全无实的话却能刨根问 底 两人的时光如昙花一现 如果能有实感的话也想有

贵方の立场も重々承知

终之美 你的立场我也一清二楚

たま たま ランコ ランコ 向こうの世界が 幕を闭 对面的世界 落下了帷幕 じて 彼らは 大きく 息をつ 他们开始鼾声四起 いた 仆らもいずれ 別れるだ 我们某日也将相互道别吧 ろう それぞれの行く先 走向各自不同的方向

たま ランコ ランコ 君との别れは ちょっと 悲しいけど 涙の別れは もっとつら 但流泪的告別 也更难受 IJ だから 仆は きっとそ 所以我决定 到那时一定 の时 笑いながらに言うよ

たま 和你的诀别 虽有些悲伤 会一边笑着一边说

たま 雨天决行 |たま | 雨天决行 騒ぎ 二人 酔い耽 两人喧闹 两人沉醉 る 今夜が 最后でもないのに 明明今晩还不是最后

视界が ぼやけてい 我的视线渐渐模糊 仆の <

袖で こっそり拭う

提起衣袖偷偷拂去

たま ランコ 雨天决行 たま |ランコ| 雨天决行 薄云越えて 注ぐ月明かり 穿透薄云洒落的月光 君と 寄り添って この夜 和你 并肩走在 这条小道 渞 今夜月光还算明亮 今夜は 月が明るいけど もう少し このまま 还想这样继续—会儿

たま |ランコ| 雨天决行 「忧世郁世」云々 叹き节

たま 雨天决行 |ランコ| 聊起「忧世郁世」云云

叹外

着に呷る 酒の苦味よ けれども染み入り酔いぬの 却说酒醺而未醉 は

君と居るからこそ

鱼着入□ 苦洒滑肠

但因有你在身旁

たま 雨天决行 たま ランコ |ランコ| 雨天决行

「渡世は厌世」云々 恨み节 聊起「渡世即是厌世」云云 悲恨处

者に浸る

酒の苦味よ 鱼看溶口 苦酒滑肠 けれども染み入り酔いぬの 却说酒醺而未醉

但因有你在身旁

以上歌词标注了三人配合时每人负责唱的部分,

たま 是魂音泉, ランコ 是豚乙女, 还有男声

雨天决行。歌词用的和语词比较多,意向有些难以把握,上面的翻译只是凭借我个人的理解。

下面给出标上了假名适合跟唱的版本,顺便在右边 配上一些难以翻译的字词的解释:

たま

たま

せかい

向こうの世界は いつも 賑やか

赈 やか:喧嚣,吵杂,热 闹

だけど どこか 诘まらなそうだ 『一绪 に笑 える』それだけのこと とても 大切 なこと

ランコ

ランコ

また きみ かんしゃ 教 えてくれた 君 への 感谢 は 。 尽 きないけど 「ありがと 尽 きない:无法完全表达 う」とは で 照 れくさくて 言 えそう にない こんや だま 今夜も黙って干杯

出来

たま

なげ 「忧世郁世」云々 叹き 节

「忧世郁世」即是 说「这个浮躁变换的世界 也是令人忧郁的世界」。 节:那时,那一刻,那一

点。

^{さかな ぁぉ} さけ にがみ **肴 に 呷 る 酒 の 苦味 よ** さかな けれども染み入り酔い ぬのは

染み入り:酒劲上头。酔 いぬ:不醉。

月夜に想い耽る

君と居るからこそ

いっぽうてき おく ぶね一方的な送り舟 何时何时苦しみ酒が染

想 い 耽 る:沉浸在思绪 中。

^{さけ} すす ったがま 酒 は 进 めど 蟠 り

蟠 り:语源是千足虫很多脚快步走过的样子,引 申义在这儿可以有两种解

释,其一是酒杯像虫脚一 样快快下肚, 其二是心中

烦闷和厌恶之情难以消 解。

とうえい

わだかま

投影:这里下句加する是 做动词,将你投影进杯

中。

花见月:花中月,代指农 历三月,这里可能是本意 也可能是点出时间的引申 意。

かさ

嵩:面积,体积。

^{さかずき きみ とうえい} 杯 に 君 を 投影

する 度 波纹 や 花见月

たらいまわ

盟回 し:迂回,不切中主 题的方式,推诿责任的态 度 **たま ランコ** それで も回る世界

雨天决行 そう変わらず

ーシー・デんざい 二人 は 存在 してる

たま ランコ 今 でも

___{あかぬ} ____ 垢抜 けない 垢抜 ける:本意清扫灰 尘,延伸到整洁的样子, 否定形式表示蓬头垢面的 样子。

_____ こうかい ね **后悔し寝る** 想いが交差し:这里歌词 当て字标作「想いが交差 し」直译是「思绪相互交 错」, 唱出来的是「ま ま」两个音。

たま | ランコ |

向 こうの 世界 は

不穏元事

だけど どこか 息苦し

そうだ

ゕた 肩の力を 抜き 过ご

せる

^{ばしょ} 场所 ではないのだろう たま ランコ

对面的世界 平稳无事

但是 总觉得哪儿 喘不

上气来

是要放下重负忍辱苟活么

现在也还没到那种程度吧

たま ランコ

たま ランコ

「渡世は戻世」 恨み节 着に浸る 酒の苦味よけれども染み入り酔いぬのは

君と居るからこそ

えんせい

とせい

聊起「渡世即是厌世」云 云 悲恨处 鱼肴溶口 苦酒滑肠 却说酒醺而未醉

但因有你在身旁

ランコ

まわ 君の 周りには 人集 り

だから 仆は

少しっされた。場所で

^{きみ} 君を见ていた

ランコ

你甚至不知道我的名字

你的周围人群拥聚

所以我选择

在稍微离远一些的地方

注视着你

たま

月

LJ

プォララー くも がく 薄 ざわめき 云 隠 れの つき

みょう はだ ざむ ょ 妙に 肌寒い 夜の こみち

小道 ぁႱቴと 足元 を 照 らす 程度 でい たま

淡淡薄云 遮掩明月

微微寒风拂面 夜间小道

只要能照亮脚边的程度就 够

雨天决行

ひざこぞう

膝小僧

とうめん よてい みてい 当面の 予定は 未定 とうめい いぜん う 透明 で 依然 りょうて 出す両手 二人が 见ず知 らず いくじ 何 て 想 いだす 意気地 无 みらい よそう 未来 予想 すら かさ ひだい もうそう 几ら重 ねても 肥大 妄想 喉を诘まる言たい事 は 弱音を吐き崩れる

全能 まではいかず

「また、いつか」だけは 誓 う

それで 明日 が 始 まりだす

実が无い话も根も叶も 堀り

雨天决行

眼下的预定是尚未确定 即是未知却依然 伸出的 双手

两人尚是陌路 为何会想起懦弱的一面

就连对未来的预想

诸事重重都是妄想

堵在喉口想说的事

说出口却全是泄气的三岁 小孩

偶然的夜晚 释然的酒宴

却不能如愿全能

「那么,何时再聚」只有 这句约定

就凭这句明日奋斗新的一 天

根も叶も堀り:日语惯用语根掘り叶掘り表示

^{ふたり} 二人の时间に华を咲か す

^{じっかん でき} 実感 出来 れば 有终 の 美

あなたたちばじゅうじゅうしょうち贵方の立场も重々承知

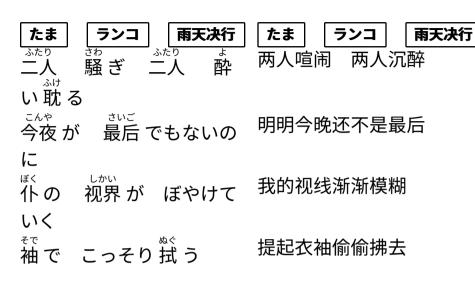
刨根问底 两人的时光如昙花一现

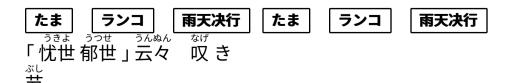
如果能有实感的话也想有 终之美 你的立场我也一清二楚

たまランコたまランコ向 こうの 世界 が 幕 を対面的世界 落下了帷幕向 こうの 世界 が 幕 を村の世界 落下了帷幕が らは 大きく 息を 他们开始鼾声四起ついた数の 大きく 息を 我们某日也将相互道别吧ろう走向各自不同的方向

 ランコ
 たま

 君との別れは ちょっと 和你的诀別 虽有些悲伤 郡 しいけど 表 の別れは もっとつ 但流泪的告別 也更难受 らい だから 仆は きっとそ 所以我决定 到那时一定 の 时





着に呷る 酒の苦味よけれども染み入り酔いぬのは まみと居るからこそ

たま
ランコ
雨天决行
たま
ランコ
雨天决行

「渡世は厌世」 恨み节 がな でた さけ の 苦味よ がる に浸る 酒の苦味よ けれども染み入り酔い ぬのは きみ 君と居るからこそ